

■本校の進路支援について

本校では進路支援として、「進路選択」と「在学中の障害福祉サービス利用」の両面において支援を行っています。PTA や福祉事業所及び各関係機関と連携して情報提供等を行います。

特に高等部では地域の事業所での「生活体験実習」を行うことでスムーズな社会生活への移行を目指します。

1 中学部の卒業生の進路（訪問学級を含む）

	①本校高等部	②岩見沢 高等養護学校	③その他 (特別支援学校)
R2 年度 卒業生	15	3	1
R3 年度 卒業生	8	2	0
R4 年度 卒業生	10	3	0

2 高等部卒業生の進路（訪問学級を含む）

高等部卒業生は、福祉施設・事業所（日中活動）への通所と訪問系サービス・医療等を組み合わせ、自宅で生活するスタイルが一般的で、日中活動も複数の事業所を併用するケースが多く見られます。自宅外（アパート・共同住宅）からの通所もあります。

	③ 通所	②入所	③自宅 (在宅サービス等)
R2 年度 卒業生	7 (3)	0	0
R3 年度 卒業生	11 (9)	1	0
R4 年度 卒業生	10 (10)	0	0

	生活介護	就労継続支援B型	就労継続支援A型 就労移行支援
R2 年度 卒業生	6	1	0
R3 年度 卒業生	12	0	0
R4 年度 卒業生	10	0	0

() は複数事業所利用

通所（日中活動事業所利用）の内訳

○本校での進路に関わる学習について

① 中学部体験学習（小学部）及び高等部見学・体験学習（中学部）

- ・自分の将来を考えるため、次の段階での学習の様子を感じ取ったり、進学に対する期待感を持ったりすることができる機会とします。



＜小学部：中学部体験学習の様子＞



＜中学部：高等部見学の様子＞

② ようこそ先輩（中学部及び高等部）

卒業生を招いて、卒業生の話を聞いたり、販売や作業の体験をしたりして、卒業生と触れあうことにより、自立と社会参加をイメージして進路について考える機会を作ります。



③ 生活体験実習（高等部）

卒業後の生活（事業所の日中活動）を実際に1日体験します。

→経験領域の拡大や進路選択を考える機会ともなっています。

1年生：1回 2年生：2回 3年生：進路希望により必要に応じて ※基本的に1日間の通所実習

